

今月の特集

1

神経領域の生理機能検査の 現状と新たな展開

今回は「神経領域の生理機能検査」について特集を組んでみました。門外漢として誤解を恐れずに印象を述べさせていただくと、神経領域の検査は、生理機能検査にあっても地味な検査です。検査室を運営する立場でみても、循環器系や超音波検査に比べると検査件数が少なく、主要な検査とは言いにくいのが現状です。しかし今回の特集をご一読いただければ、この認識が古いものであることがわかりになるでしょう。

「神経領域の生理機能検査」は着実に進歩しており、深淵にして謎に満ちた脳や神経系の機能に迫ってきています。高齢化社会を迎え、認知症をはじめとする脳神経系の疾患に注目が集まっています。これに伴って、「神経領域の生理機能検査」が重要性を増していることを、本特集を通じてご理解いただければ幸いです。

(佐藤 尚武)